



学塾通信 11 月号（第 83 回）

～学塾は一人ひとりが目標に向けて真摯に取り組む教室である～

11 月 1 日（金）は調整休校日です。通常授業は実施しません。

11 月 4 日（月・祝）は祝日開校日です。

わからなくて、「悔しい」「できるようになりたい」と思うことができるかどうか。勉強ができるようになるための第一歩はそこにあります。

なぜ、できなくて悔しいと思うのでしょうか。おそらく、自分なりに勉強したにも関わらず、思ったように解けなかったからでしょう。できなくて当然という勉強しかしていなければ、悔しさも湧いてきません。

テスト本番で勉強したとおりの成果を発揮するのもそう簡単ではありません。テキストで解くと正解できるけれど、テストになると同じような問題でも得点できない。よくあることですが、これはテスト形式での練習が足りていないのが原因です。

テストがうまくいかなくても、次は確実に解くことができるよう日々の勉強をやめないことが肝心です。

しかし、多くの方が実力テストや模試で点数が取れない。その結果、「勉強をしても意味がない」「こんな難しい問題をしても意味がない」という短絡的な思考になりがちです。

そこで一度立ち止まって欲しいのです。なにより大切なことは、前回の結果を振り返り、次の目標を決めることです。そして、目標点を超えるために次の試験までに計画的に学習を進めることです。

試験で高得点を取ることができる人と、そうでない人の差はそこだけです。思ったような点数を取ることができない人は、最初からあきらめがあるように見えます。どうせ無理だとすぐに判断してしまいます。

本当に無理なののでしょうか？ そんなことはありません。やるべきことに継続して取り組めば必ずできるようになります。入試までの残り期間、これまで以上に真剣に受験勉強に向き合ってください。「ちょっとできるようになってるやん」と感じる瞬間がくれば、そこから先はどんどん伸びるでしょう。

塾生一人ひとりを見ていると、全員にまだまだ伸びしろがあると感じています。「全員」です。

繰り返しになりますが、わからなかった問題・できなかった問題があったときに、きちんとやり直しをすること。できなかった問題を「悔しい」「できるようになりたい」と思い、正解を追求すること。

ここから先は、そのような強い気持ちで取り組んで欲しいと思います。

まだまだここからです。学塾 7 期生のみなさん、頑張りましょう！！

☆小学生☆

○漢字学習について

さららの教材で「漢字コンテンツ」がリリースされました。

漢字が苦手なお子様にも取り組みやすいコンテンツになっています。

通常授業に組み込むこともできますし、漢字の時間という形で設定することもできます。

ぜひ一度体験してみてください。

来年3月には、さららで現在の国算に加えて理社の講座もスタートする予定です。近年ICT教材の質がかなり高くなってきました。ICTでできること、私たち講師が直接指導すべきことを見極めつつ、塾生にとってより良い環境をつくっていきます。

☆中学1・2年生☆

○欠席連絡について

中学生の欠席連絡については、保護者の方からご連絡をいただきますようよろしくお願いいたします。

というのも、生徒本人から欠席連絡があったにも関わらず、保護者の方が欠席を把握していないこともありました。

今後そのようなことを防ぐために、欠席連絡は保護者の方からしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

○得意科目の勉強について

塾生のみなさんを見ていて良いセンスをしているなど感じる場合があります。

自分でも比較的得意だと思っているのだなということが伝わってきますが、それでも、テスト・模試の結果を見ていると思ったように得点できていないことが多々あります。

答案を細かくチェックしていると間違え方が気になります。

例えば英語。三人称単数の s が無い(反対に不要なのに s をつけている)、過去形なのに現在形にしている、一つの文章のなかに動詞を二つ入れてしまっているなど、細かいところがきちんとできておらず得点できていません。やり直しをすると「凡ミスや」で終わってしまいます。しかし、それは凡ミスではありません。点数になっていなければわかっていないのと同じです。

偶数月に実施しているテストを受験するなど、実戦経験を増やしていくことで確実に解ける問題が増えていきます。

○定期テスト対策について

今年の中学 1・2 年生からは、「ほどほどで良い」「無理をしたくない」というような空気が漂っています。特に中学 1 年生。なぜ 2 週間前のテスト対策の時間を倍にしたのか。そこから説明をする必要があります。

それは、毎回定期テスト前ギリギリまで学校の課題が終わらずに慌てる姿を目にするからです。直前の日曜日にもテスト勉強の時間を取ることができず、学校の課題に取り組んでいました。

そのため 2 週間前には学校の課題に取り組んでもらい、翌週の土日にはしっかり演習をしてもらおうと考えています。

本来であれば全員参加が望ましいです。テスト前こそ勉強をするものです。

テスト前にも関わらず「ほどほど」の勉強しかしないのであれば、それなりの結果にしかありません。1 年生の 2 学期から成績を落とす生徒を毎年見えています。だからこそ、この 2 学期はしっかり頑張ってもらいたいと思います。

☆中学受験生☆

4 年生のみなさんへ

そろそろ自主学習の時間を増やしていきましょう。授業を受けて終わりではなく、授業の前後の時間を使って、これまでに学習した内容を復習するようにしてください。

また、3 教科受験を考えている方は、理科の受講のご検討をお願いします(遅くとも 2 月開始を考えています)。

偶数月の模擬テストについては、学習進度がテスト範囲に追いついておらず、実施できていない状況が続いています。これは冬期講習会のテキストとしてすることを考えています。

○秋期算数集中特訓について(すでに案内は配布しています)

秋期算数特訓で実施したいこと。

4年生:各講習会の進みに遅れが見られるため、この期間に特殊算を進めておきたい。

5年生:進度は悪くはないが、圧倒的に練習量が足りず得点力が不足しているため、この期間に練習量を確保。

6年生:過去問演習の結果を見ていると解く力が足りないわけではないが、スピードが追いついていない。

以上のことから、この時期の実施を決めました。ぜひ、参加をお願いいたします。

○模擬テストについて

五ツ木の模擬テスト(5年生・6年生)

10月27日(日)

模試受験後は必ずやり直しをしましょう。

模試代は9月29日分を回させていただきます。

☆高校受験生☆

○秋期理科集中特訓について(すでに案内は配布しています)

通常授業では英数を受講している方がほとんどです。英数についてはほとんどの生徒が、12月の直前特訓から入試問題にとりかかれるペースで進めることができているように思います。

気になるのが理科・社会です。特に理科は夏期講習会でも時間を取って進めましたが、9月の実力テストでも、講習会で実施したような問題も得点しきれない状態でした。

さらに毎月の自主学習課題の精度が高くなく、解きっぱなしで終わっているように見えます。

12月の入試直前特訓までにまとまった時間を取ることができるのは、この期間だけです。

ほとんどの受験生が5教科受験だと思います。できる限り参加するようにしてください。

○模試の案内

五ツ木模試 11月10日(日)

必須受験です。

☆大学受験生☆

指定校推薦や AO 入試で進路が確定する人ができます。これから受験をする人はうらやましさを焦りもでてくるかもしれませんが、そんなときでも「わたしはわたし、他は関係ない」という強い気持ちで受験勉強に励んでください。

「高校受験のときはあまり勉強をしていなかったな」と大学受験生は口をそろえて言います。

そう感じるほど大学入試では覚えることも多く、難易度も高いです。中学 3 年生のみなさん、大学受験生の取り組む姿を見て刺激を受けてくださいね(特に将来大学進学を考えている人たち)。

さて、今年の大学受験生は文系志望者が多く、総じて日本史に苦しんでいるように見えます。

かくいう私も大学受験では日本史を選択し、用語集を隅から隅まで覚えるような学習をしていました。本当に大変でした。大学受験の日本史は気持ちで負けたら終わりです。

肩の力を抜いて日本史の学習をしたいときにお勧めなのが、「中田敦彦の YOUTUBE 大学」です。ご存じでしょうか？ オリエンタルラジオの中田敦彦さんが講義をしています。古代史をはじめ多くの講座があります。かなり作りこんであり、引き込まれる内容ですので、一度休憩時間に自宅で見てください。歴史の流れをつかむことができます。

☆新年度生募集について☆

秋以降は新入塾を検討される方が増えてきます。学塾の高校受験コースは 1 学年 20 名を定員としています。20 名を越える場合はキャンセル待ちをしていただいております。

現小学 6 年生は、おかげさまでスタンダードコース・英検対策コースを合わせてすでに 20 名を越える方に通塾していただいております。

定員通りにすると来春からの受け入れはできないことになってしまいますが、中学進学に合わせて学塾へと考えていただいている方も毎年いらっしゃいます。学塾は地域に根ざした学習塾です。ですから、そういった方たちのお役に立てるよう運営していきたいと考えています。

つきましては、新中学 1 年生に関しては新年度募集期のみ定員を超えての募集を受け付け、新学年がスタートする際に募集停止という形を取らせていただきます。

何卒ご理解、ご了承いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

学塾【URL】 <http://gakujyuku.com> 【FACEBOOK】 <https://www.facebook.com/gakujyuku>
【Instagram】 <https://www.instagram.com/gakujyuku/>